

97社・団体が出展、自動認識技術の専門展示会

AUTOID & COMMUNICATION EXPO
第21回自動認識総合展**2019年9月11日（水）～13日（金）、東京ビッグサイト 南ホール4F**
開催時間 10:00～17:00 [3日間とも]

一般社団法人日本自動認識システム協会（通称 JAISA[ジャイサ]、東京都千代田区 会長 池田 隆之）は、2019年9月11日（水）～13日（金）の3日間、東京ビッグサイト（東京国際展示場）南ホール4Fにて、「第21回自動認識総合展 AUTOID & COMMUNICATION EXPO 2019」を開催いたします。また、併設で「**BT Spice**自動認識セミナー（B Bluetooth・T Touchスペース）」を開催いたします。

本展示会は、自動認識技術に以前から求められていた「省力・効率」の分野に加えて、社会において人が安心して生活できる「安全・安心」の分野、物流・製造等現場の「見える化」の分野での「バーコード、二次元シンボル、RFID（Radio Frequency Identification）、画像認識、バイオメトリクス（生体認証）」などの先端自動認識技術、及びこれらの技術を生かしたソリューション（物流、流通、生産、施設オフィス管理支援など）や応用システムを展示するものです。

来場者は、自動認識ベンダーのみならずコンピュータ関連業界をはじめ、アパレル、飲料、食品、出版、流通、物流、医療、オフィス管理、施設管理さらには公共関係と広範囲にわたり、その職種も開発、企画、営業、情報システム、設計から生産管理、購買担当の方々と多岐にわたっています（第20回は約19,000人が来場）。開催概要は下記の通りです。

- ◆展示会名：「第21回自動認識総合展」
- ◆会 期：2019年9月11日（水）～13日（金） 10:00～17:00（3日間とも）
- ◆会 場：東京ビッグサイト [東京国際展示場] 南ホール4F
- ◆主 催：一般社団法人日本自動認識システム協会
- ◆後 援：総務省／外務省／経済産業省
- ◆開催規模：98社・団体 267小間
- ◆入 場 料：1,000円（インターネット来場事前登録者・招待券持参者は無料）
- ◆併催事業：BT Spice 自動認識セミナー
主催者*・出展社プレゼンテーション（※JAISAセッション、JAISAフォーラム、自動認識システム大賞受賞企業発表）
事例でわかる自動認識（出展企業による出展内容パネル展示）
- ◆ゾーン展示：モバイル&ウェアラブルゾーン
画像認識ゾーン
センサネットワークゾーン
- ◆同時期開催展示会：測定計測展／センサエキスポジャパン／総合試験機器展／地盤技術フォーラム
- ◆展示会事務局：株式会社シー・エヌ・ティ

▼国内唯一の自動認識技術、ソリューションの専門展示会

本展示会は、「バーコード・二次元シンボル、RFID、画像認識、バイオメトリクスといったIDの最先端技術」と「ID技術を活用した、業務の効率化、省力化・コスト削減、安全・品質管理、顧客サービス向上のための自動認識ソリューション」の2本柱にて構成されます。展示内容は、「参加97社・団体によるブース展示」と「テーマ展示 ～自動認識で変わる未来～」、「自動認識技術の活動を紹介するJAISAコーナー」、聴講無料の「主催者・出展社プレゼンテーション」などとなります。

▼ BTSpice 自動認識セミナー

本展示会に併設される「自動認識セミナー」は東京理科大学大学院教授 荒木勉氏をセミナー委員長に迎え、ユーザの視点を意識したセミナーを実施します。

本セミナーは3日間開催され、6セッション 12 講演が用意されています。講師は各界の専門家が切り口鋭く実例などまじえながら最新の自動認識技術を講演し、通常ではなかなか聴講できないセミナーとなっております。

《9月11日(水)》

基調講演 K01 【無料】

「我が国製造業の課題と展望 ～connected industriesの実現に向けて～」

経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 池田 秀俊 氏

特別講演 T01 電子タグ 1000 億枚宣言の背景と狙い・今後の展開 【無料】

「電子タグ 1000 億枚宣言の背景と狙い・今後の展開」

経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 課長補佐 久保田 倫生 氏

「国内消費財サプライチェーンの効率化の研究開発」

大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部 C&Iセンター デジタルサプライチェーン事業開発プロジェクト ビジネス推進部 部長 中野 茂 氏

《パネルディスカッション》

ファシリテータ 紀伊 智顕 氏 みずほ情報総研(株) 経営・IT コンサルティング部・シニアマネジャー

パネラー 伊藤 正隆 氏 (株) ローソン オープン・イノベーションセンター アシスタントマネージャー

中野 茂 氏 大日本印刷(株) ビジネス推進部 部長

小林 洋 氏 サンスター(株) 営業企画部 セールス&マーケティンググループ 担当部長

田村 和広 氏 (株) 日立物流 知財・CRM 部 部長

《9月12日(木)》

S01 コネクテッド・インダストリーズに向けた事例 【有料】

「自動認識～IoT 活用による多様化した生産工程での実用による効率化」

NECプラットフォームズ(株) 執行役員 河野 修久 氏

「次世代 LPWA ネットワーク ZETA のご紹介」

ZETA アライアンス 理事 諸井 眞太郎 氏

「LPWA を使った可搬型熱ストレスセンサーによる熱中症予防対策について」

東京理科大学 理工学部土木工学科 准教授 仲吉 信人 氏

S02 RFID による商品管理 【有料】

「地方の中小アパレルチェーンが RFID を導入して、苦労したこと」

(株) フクダ テクニカルチーフ 鈴木 聡 氏

「ドローンによる RFID 読取りで高所作業削減」

東京理科大学 経営学部 教授 荒木 勉 氏

《9月13日(金)》

S03 RFID を活用した医療機器管理 【有料】

「医療機器流通における RFID 活用事例標準化によって拓かれる未来」

ジンマー・バイオメット合同会社 ディレクター、ガバメントアフェアーズ 河合 誠雄 氏

「モノと情報の連携による新たな地平：医療機器トレーサビリティデータバンクの挑戦」

国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター センター長 美代 賢吾 氏

S04 医療現場での活用事例 【有料】

「自動認識技術による医療トレーサビリティの確立」

東京医療保健大学 NTT 東日本関東東業院 学事顧問 名誉院長 落合 慈之 氏

「病院内の物流管理と RFID」

東京医科歯科大学 医学部附属病院 材料部 副部長 久保田 英雄 氏

▼テーマ展示 「未来をつなぐ AUTO-ID ～自動認識技術で変わる未来」

本展示は(一社)日本自動認識システム協会が、皆様に自動認識技術の可能性を改めてご理解いただくために企画しました。

「自動認識技術で変わる未来」をご紹介します。本展示では、「明日」にでもすぐ導入できるソリューションから、「数年先」に実現を目指すものまで、自動認識の「今」と「未来」を体感いただけます。

▼主催者・出展社プレゼンテーション ※聴講無料

【JAISA セッション】

自動認識の統計調査報告や基礎知識講演（チュートリアルセッション）、事業成果発表などを行います。

9月11日（水）	9月12日（木）	9月13日（金）
「自動認識機器等の 2018年出荷統計調査報告」	チュートリアルセッション1 「バーコード・二次元シンボル編」	チュートリアルセッション3 「生体認証編」
	チュートリアルセッション2 「RFID編」	

【JAISA フォーラム】

自動認識の関連規格や事業成果発表などを行います。《事前予約制》

9月11日（水）

「サプライチェーン用 RFID 国際規格の実装」 ～国際規格改訂の最新状況とアプリケーションへの適用～ 「汎用リターナブル容器（RTI）の課題と RFID 化」 「バイオメトリクス精度評価方法改善への取り組み」 ～容易にセキュリティ性を確認できる評価方法の確立に向けて～ 「JIS X 0527 の概要解説と国際標準化について」 「医療業界の自動認識技術（バーコード、RFID 等）のこれまでと今後」
--

【自動認識システム大賞受賞企業発表】

JAISA が毎年表彰している「自動認識システム大賞」の今年度受賞システムの発表を行います。

9月11日（水）

NEC プラットフォームズ（株） 宅配便自動受付機	特別賞
（株）クライム 手のひら静脈認証による高齢者等身元特定支援サービス	フジサンケイ ビジネスアイ賞
（株）サトー HACCP 対応 業界初の IoT クラウドシステム	優秀賞
（株）スズケン スペシャルティ医薬品の流通管理ソリューション	優秀賞
（株）パトライト バーコードと信号灯を活用した製造現場のデータ無線収集システム	大賞

【出展社プレゼンテーション】

今回も出展企業が展示会場内で自社の製品・ソリューションをプレゼンする「出展社プレゼンテーション」を行います。発表企業は以下の通りです。

9月12日（木）	9月13日（金）
（株）グレースシステム	（株）グレースシステム
（株）インフォファーム	（株）インフォファーム
（株）トラスト・テクノロジー	（株）トラスト・テクノロジー
緑屋情報システム（株）	（株）テララコード研究所
（株）RFID アライアンス	（株）アドダイス
（株）アドダイス	（株）インフォファーム

▼ゾーン展示

【モバイル&ウェアラブルゾーン】

製造、運輸、流通、店頭などの現場ではモバイル端末の存在は今や珍しい物ではなくなりました。それに加え身に付けて作業効率を上げるためのウェアラブル機器が昨今注目を集めております。それらのモバイル&ウェアラブルと自動認識技術が融合することによりさまざまなイノベーションが予想されます。

本ゾーンでは、モバイル端末・モバイル連携機器、ウェアラブル機器などを集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

アイメックス（株）、大同産業（株）、Riotec Co., Ltd.

【画像認識ゾーン】

カメラ付きの携帯電話やスマートフォンが急速に浸透して、今では一人が一台画像認識ツールを保有して利用する時代となったといっても過言ではありません。製造工程での活用やセキュリティ用途の拡大はもちろんのこと、生活者がもっと身近に活用し情報入手するなどさらなる可能性を秘めています。

自動認識総合展では、画像認識技術による個体パターン認識や画像処理による画像情報の認識、バーコード認識、文字認識（OCR）、指紋・顔認証などを中心に、企業や生活者が利用できる応用技術など幅広く先進の画像認識技術を集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

（株）アドダイス、NEC/NECプラットフォームズ、キヤノンITソリューションズ（株）、
（株）グレースシステム、（株）システム計画研究所、（株）シフト/（株）インフォファーム、
デュプロ（株）、（株）とめ研究所、（株）トラスト・テクノロジー、富士フイルムイメージングシステムズ（株）
（株）モスウェル、（株）Rist

【センサネットワークゾーン】

RFID や NFC 等の自動認識で、家電・自動車・食物・流通製品などの様々な“モノ”を認識しインターネットに接続することで管理するIoT（Internet of Things）や機器間のネットワークでつなぐM2M

（Machine to Machine）などセンサネットワークが注目を集めております。用途は製造工程、スマートハウス、交通、ヘルスケア、医療、農業、エネルギー管理、セキュリティ、災害対策など多岐にわたり、次世代社会を支える情報インフラ基盤として期待されております。

自動認識総合展では、無線通信技術、センサ技術、クラウド、データ解析など、自動認識技術でつながる各種センサおよびネットワーク構築を集めたゾーンを設置いたします。出展企業は以下の通りです。

ICOP I.T.G.（株）、（株）オンデマンド研究所、（株）三協、
伯東（株）/インピンジ/（株）エスケーエレクトロニクス/小林クリエイティブ（株）/
日鉄ソリューション（株）/マイティキューブ（株）/RFルーカス（株）

尚、このほかにも公式サイト上で展示会のご案内をしておりますのでご参照ください。

<https://www.autoid-expo.com>

●公式サイトの「プレスの方へ」では、以下データがダウンロード可能です。

1. 「第21回自動認識総合展」ロゴデータ
2. 「自動認識セミナー B・T Spice」のロゴデータ
3. 「2018年度の会場風景などの写真」
4. 「ポスターデータ」

----- <お問い合わせ先> -----

展示会事務局

（株）シー・エヌ・ティ 担当 = 吉田

Tel.03-5297-8855 Fax.03-5294-0909 info@autoid-expo.com

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4F